










各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。  
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

## 令和2年 11月のHPきごころ通信 (先月の話題)

### 目次

- (1)  園児の散歩 データで安全 滋賀県警、保育園に講習
- (2)  清水建設の定年 来年から 65 歳に 地域社員は昇進上限上げ
- (3)  高齢運転対策 続く模索 生活に必要 免許返納悩む
- (4)  物流施設開発 関西で勢い 新規建設面積、来年最大に
- (5)  カウンター席も隣と距離を 食事中以外はマスク徹底
- (6)  清水建設・鹿島・竹中工務店 施工ロボ開発 技術提携
- (7)  土壌浄化の微生物 培養 大成建設、工期を半減
- (8)  読書「増加」 24% コロナが影響 日本財団、17~19 歳調査
- (9)  少年刑法犯 10年で4分の1に 世間の印象とギャップ

### (1) 園児の散歩 データで安全 滋賀県警、保育園に講習

#### ルートの事故状況公表

\*滋賀県警が過去の交通事故データを活用し、園児の安全な散歩に役立てる講習を実施。

\*事故データは県内で起きた過去約 10 年分の人身事故と、約 5 年分の物損事故を網羅。

\*被害者の年代や発生地域条件を設定して検索すれば、発生場所を地図上に表示。

(2020 年 10 月 4 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



### (2) 清水建設の定年 来年から 65 歳に

#### 地域社員は昇進上限上げ

\*清水建設は 2021 年 4 月から全社員を対象に、定年を 60 歳から 65 歳に延長。

\*最長 65 歳まで正社員として雇用する枠組みとし、退職時期は本人の希望で選べます。

\*60 歳を超えると年収は約 3 割下がりますが、これまでの再雇用よりは上昇。

\*勤務地域を限定した社員を対象に、昇進の上限を 2021 年度から副支店長

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。  
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

級に引き上げます。これまでは課長級が上限。

\*建設業に携わる就労者は55歳以上が全体の約3分の1、29歳以下は1割程度。

(2020年10月6日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

### (3) 高齢運転対策 続く模索 生活に必要

#### 免許返納悩む 「サポカー」普及足踏み

\*2020年上期(1~6月)の交通事故は新型コロナに伴う外出自粛の影響もあって例年より減りましたが、75歳以上の運転者が過失が最も重い「第1当事者」となったバイク・車の死亡事故は175件で、前年同期より3件増えました。

このうち車の事故の原因の39%は、アクセルとブレーキの踏み間違いなどの操作ミスでした。

\*2019年末時点の75歳以上の運転免許保有者は582万人。

#### 高齢者事故を防ぐための主な対策

##### 免許自主返納

2019年の返納者は60万人でしたが、代替の交通手段の確保が課題

##### サポカー補助金

2020年度中に100万件超の目標。9月24日時点で約48万件

##### 実車試験

2022年を目途に一定の交通違反歴がある75歳以上に対して義務付け

(2020年10月9日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

### (4) 物流施設開発 関西で勢い



#### 新規建設面積、来年最大に

\*関西で物流施設の開発が活性化。

\*2021年の新規建設面積は過去最大になる見通し。

\*交通網の充実も背景に。

\*商業やホテルに比べ底堅い物流市場に資金が流入。

\*大阪圏の2021年の物流施設の新規供給面積は、2020年見込みに比べ6割増の102万m<sup>2</sup>になる見通しで過去最大。

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。  
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

\*かつて関西では、大阪湾岸での物流拠点の開発が先行。

津波リスクが再認識され、BCP（事業継続計画）の意識の高まりもあり  
内陸部まで物流拠点が広がりました。

\*新名神の沿線では、2012～2018年に約40件の物流施設が開発されまし  
た。

\*近畿圏の物流施設の4～6月期の1坪当たり賃料は3930円と、1～3月期比  
3.1%上昇。

\*2022年の新規供給は一旦鈍化しますが、2023年以降は再び拡大に向かう  
見通し。

(2020年10月15日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

## (5) カウンター席も隣と距離を

### 食事中以外はマスク徹底 国立感染症研究所、クラスター分析

\*横並びのカウンター席でも隣との距離が近いと新型コロナウイルス感染  
の恐れがあるとの見解を、国立感染症研究所がまとめました。

\*飲食店などで発生したクラスター（感染者集団）の共通点として「発症者  
に手を伸ばせば届く程度の距離に人がいた」と指摘。

\*食事の際にテーブル席で斜め向かいに座る工夫は有効。

\*テーブルを2人で使い、対面、横並びを避けて180cmほどの距離を確保  
していたところ、感染者と同じテーブルで食事したことで感染したと考えら  
れる事例は起きていませんでした。

\*理化学研究所もスーパーコンピューター「富岳」によるシュミレーション  
で、話をする人の正面よりも隣に座る人の方が、約5倍の飛沫を浴びるとの  
研究成果。

(2020年10月20日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

## (6) 清水建設・鹿島・竹中工務店



### 施工ロボ開発 技術提携

\*清水建設は、鹿島と竹中工務店の両社と施工ロボットや施工を支援するデ  
ジタルツールの開発に関する技術提携を結んだと発表。

\*鹿島と竹中工務店は2019年12月に、施工技術の共同開発に関する包括  
連携。

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。  
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(2020年10月20日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

### (7) 土壌浄化の微生物 培養 大成建設、工期を半減

\*大成建設は、工場用地などの土壌を微生物を使って浄化する新技術を開発。  
\*土壌汚染の原因物質である塩素化エチレンを分解する微生物を培養して土壌に注入。

\*地中にもともとある微生物を増やす従来の方法に比べて期間を半減。

\*コストは3割ほど増えますが、早期に土地を転用できる利点をアピール。

(2020年10月27日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

### (8) 読書「増加」 24% コロナが影響

#### 日本財団、17~19歳調査

\*日本財団が全国の17~19歳の男女1000人に実施した調査

\*新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛などで、24.9%が読書量が増えました。

\*読書が「好き」と答えたのは59.7%、「嫌い」は12.8%。

\*読書量が「減った」は6.0%、「変わらない」は69.1%。

\*1か月に読む本の冊数は「1~2冊」が44.8%、「全く読まない」は32.7%  
6.8%は7冊以上。

(2020年10月27日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



### (9) 少年刑法犯 10年で4分の1に

#### 世間の印象とギャップ

\*2019年に刑法犯で摘発した14~19歳の少年は、19,914人で16年連続で減少。

\*2010年(85,846人)の4分の1以下の水準。

\*摘発人数の減少幅は同じ期間の20歳以上(27%)よりも大きくなります。

\*特殊詐欺事件で摘発された少年は507人と、2010年(51人)と比べて約10倍に。

\*内閣府の2015年の世論調査で「少年による重大事件が増えた」と回答した人は78%と、5年前の調査に比べ3ポイント増加。

(2020年10月30日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)